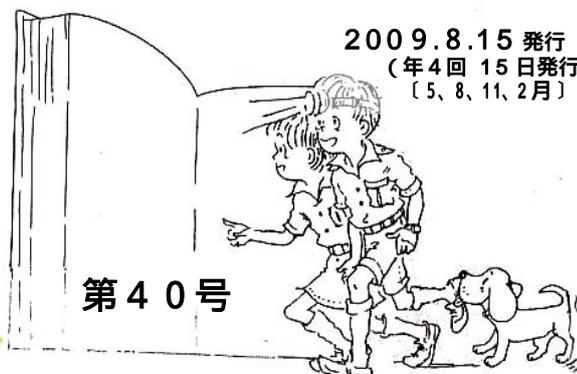


# にのみやまちとしょかん 図書館だより

2009.8.15 発行  
(年4回 15日発行)  
〔5、8、11、2月〕

第40号



## 特集 ガラスのうさぎ像と二宮

いまから27年前の1982(昭和57)年、二宮町議会は平和都市宣言に関する決議を全会一致で採択しました。平和都市宣言に関する決議は右記のとおりです。宣言文には「ガラスのうさぎ像の精神を忘れず、人類の永遠の幸福の為に平和と言う理想に向かって努力する」とあります。

二宮駅南口に建つガラスのうさぎ像は、「ガラスのうさぎ像を二宮駅に建てる会」の呼びかけにより、町内をはじめ全国から寄せられた貴重な浄財をもとに1981年8月に平和と友情のシンボルとして建てられました。像の由来となった『ガラスのうさぎ』は、著者高木敏子さんの少女時代の過酷な戦争体験をつづった児童書で、1977年発行以来220万部を超えるロングセラーとなっています。

今回の特集では、ガラスのうさぎ像と二宮にまつわる出来事を年表にまとめました。高木敏子さんは、終戦の日の8月15日だけでなく、太平洋戦争が始まった12月8日を忘れないようにと機会あるごとにおっしゃっています。二宮町では今年も8月に「ガラスのうさぎ像 平和と友情のつどい」(第19回)が開催されました。今私たちにできることは、この時期だけでなく、その精神を正しく理解し語り継いでいくことなのではないでしょうか。

### 平和都市宣言に関する決議

現在の世界情勢は、各地で紛争がおき大戦争に発展する危険性を持ち、又、超大国の「力の均衡論」による核戦争準備の強化によって人類滅亡か否かの瀬戸際に立たされている。世界唯一の被爆国であり、戦争を放棄した我が国として全世界に向かって核兵器の廃絶をうたえらるとともに我が二宮町は「ガラスのうさぎ像」をシンボルとする平和を願う町民の意志を代表し、以下の方針を堅持する平和都市であることを、ここに厳粛に宣言する。

1. 非核三原則の厳守を国に対して強く要望すると共に二宮町内に核兵器をつくらせず、設置させず、持ちこませない。
2. ガラスのうさぎ像の精神を忘れず、人類の永遠の幸福の為に平和と言う理想に向かって努力する。

### ガラスのうさぎ像と二宮にまつわる年表

「」は高木敏子さん関連事項

1932	昭和7	6/19	高木敏子さん東京本所に生まれる
1941	昭和16	12/8	太平洋戦争始まる(開戦)
1944	昭和19	6月	二宮町へも縁故疎開が始まる
		7月	小学校6年生のとき二宮へ疎開
1945	昭和20	2/17	空襲で二宮駅・国民学校付近に機銃掃射弾
1945	昭和20	3/9	東京大空襲(死者10万人以上)
			母と妹たち、大空襲により消息不明
1945	昭和20	8/5	二宮駅及び駅付近機銃掃射により被害(5名死亡)
			父と二宮駅で機銃掃射による攻撃に遭う。高木さんは椅子の下に潜り込んで助かったが、父は弾を浴びて死亡
1945	昭和20	8/15	戦争終結の詔書を放送(終戦)
1977	昭和52	3月	父母、妹の三十三回忌で小冊子『私の戦争体験』を自費出版
1977	昭和52	12/8	『ガラスのうさぎ』(金の星社)初版発行
1979	昭和54	7月	映画『東京大空襲 ガラスのうさぎ』公開
1980	昭和55	8月	NHK銀河テレビ小説 ドラマ『ガラスのうさぎ』放映
1981	昭和56	1月	「ガラスのうさぎ像を二宮町に建てる会」結成
1981	昭和56	8/5	二宮駅に「ガラスのうさぎ像」設置 除幕式 高木さん戦争体験談スピーチ
1982	昭和57	6/18	二宮町議会で平和都市宣言
1991	平成3	12/8	ガラスのうさぎ像 平和と友情のつどい開催 高木さん講演
1995	平成7	8/5	ガラスのうさぎ像 平和と友情のつどい(第5回) 高木さん講演
2000	平成12	8/5	ガラスのうさぎ像 平和と友情のつどい(第10回) 高木さん講演
2005	平成17	5/3	アニメ映画『ガラスのうさぎ』ラディアンホールで全国初公開上映
2005	平成17	8/5	ガラスのうさぎ像 平和と友情のつどい(第15回) 高木さん講演
2008	平成20	8/2	ガラスのうさぎ像 平和と友情のつどい(第18回) 高木さん挨拶

『ガラスのうさぎ 新版』  
高木敏子著 武部本一郎画  
/金の星社/2000/幼

画像  
なし

ガラスのうさぎ像



# 5月～7月の新着本&CD

2009年5～7月新着分より

(著編者 / 出版社 / 出版年月 / 請求記号)

本

画像  
なし

『東京ブックナビ』(東京地図出版編集部 / 東京地図出版 / '09.1/024.1ト)  
東京にある新刊書店、古書店、図書館等を紹介するガイドブック。全掲載箇所を地図付きで紹介、豊富なコラムや喫茶店情報などが盛り込まれ、みどころ満載です。街歩きの友としていかかでしょうか？

画像  
なし

『雑菌主義宣言！』  
(斎藤孝/文芸春秋 / '09.5/159サ)  
不況の時代を生き抜くには、精神の強さが必要。わが身にふりかかる厄介で不愉快な雑菌的なものを拒否するのではなく、雑菌を気持ちよく浴び自らの心の免疫力を高めていく方法を伝授。

画像  
なし

『定年する脳しない脳 - 日々の不安を消す楽しい脳の使い方 - 』(佐藤富雄/ナナ・コーポレート・コミュニケーション/'09.5/498.3サ)  
脳は何歳になっても成長し続けるという医学博士の著者が、脳を若者に戻す楽しい習慣や人間関係の秘密など、日々の不安を消す楽しい脳の使い方を教えてくれるワクワクする1冊。

画像  
なし

『赤レンガ近代建築 - 歴史を彩ったレンガに出会う旅 - 』(佐藤啓子/青幻舎/'09.4/523.1サ)  
文明開化とともに脚光を浴びた赤レンガ建築。震災や火災をくぐりぬげ、今も残る日本各地の赤レンガ建築物を写真で紹介。独特の雰囲気を感じだす壁面からは、時代の息遣いが伝わってきます。

画像  
なし

『絆 - 冬は必ず春となる - 』  
(岩隈久志/潮出版社 / '09.4 / 783.7 イ)  
どん底の苦しい2年間を乗り越え、'08年に投手三冠、沢村賞などを受賞し栄光を勝ち取った。その復活劇は多くの人に希望や勇気を与えた。自ら明かす半生と、勝利の原動力となった師、家族、チーム、ファンとの絆を語る。

画像  
なし

『浮き世のことは笑うよりほかなし』  
(山本夏彦/講談社 / '09.3/914ヤ)  
今は亡きコラムニスト山本夏彦氏が、雑誌「室内」で多彩な顔ぶれと語った対談の精選です。胸のすくような言葉のやり取りにスカッとさせられ、時代を超え胸の奥にとどく本音の対談集です。

## 展示テーブルから

8月の展示テーマ  
野球

画像  
なし

展示テーブルは図書館入口右側にあります  
毎月テーマを変えて本を紹介しています  
おいてある本は全て貸出できます

8月の展示本  
『1943年晩秋最後の早慶戦』  
(早稲田大学大学史資料センター 慶応義塾福沢研究センター共編/教育評論社/'08.11 / 783.7セ)

夏、到来。今年も夏の風物詩の一つ、全国高校野球選手権大会の季節がやってきました。神奈川でも、189校が甲子園を目指し熱戦を繰り広げました。そこで、8月の展示テーブルは、野球をテーマに、関連本や野球を題材にした小説を集め展示しています。

展示本の中からは、『1943年晩秋最後の早慶戦』をご紹介します。昭和18年10月16日、太平洋戦争の厳しい戦局のもと、すでに野球は敵国のスポーツとして疎まれる中、学徒出陣のための早稲田・慶応両大学の壮行野球試合が行われ、観客席を埋め尽くしました。著書は、60年ぶりに発見されたスコアブック等に基づいて試合内容や時代背景を明らかにしたもので、裏表紙の戦禍を免れた白球が印象的です。

過去に展示テーブルで紹介したテーマ及び本のリストのファイルは展示テーブル上にあります。また、2006年11月以降のものは図書館ホームページ「本の紹介」内の「バックナンバー」でも確認できます。是非ご活用ください。

録音 CD (演奏者 / 収録時間 / 請求記号)

画像  
なし

『二宮町』  
(ふたり / 19分 / 290フ)  
二宮西中学校時代にグループを結成した「ふたり」は1984年生まれ、フォークデュオ。09年4月待望のミニアルバム「二宮町」でデビュー。年間150本以上の路上ライブを中心に活動し、二宮町の観光親善大使としても活躍。

## こどものほんコーナーから

おすすめの一冊

画像  
なし

『どこへいったの、ブルーカンガルー？』  
エマ・チチェスター・クラーク  
評論社  
'03.6  
E ク

リリーは、ぬいぐるみのブルーカンガルーが大好き。でも、しょっちゅう置き忘れてしまいます。ブルーカンガルーは、とっても心配…。かしこくけなげなブルーカンガルーとおちゃめなリリーの、すてきなかわいらしいお話です。

# 図書館発見

お仕事紹介

## AV資料の装備・修理

現在図書館では、AV資料約1万3千点を所蔵しています。特にCDやDVDなど長く利用していただくために、その1点1点に以下のような工夫や装備をしています。

### 《受入時》

- ・付属の歌詞カードや解説書 …ブックコートによる補強
- ・ケース(カバー) …貸出利用しやすいものに交換
- ・注意書きなどのシール添付(写真) など

### 《返却時》

- ・ディスクに汚れやキズがないか点検
- ・(汚れていたものは)専用クリーナーで拭き取り
- ・音とびや画像乱れ箇所などの確認 など

### 《修理》

- ・ディスク …実際に視聴して音とび箇所を確認し、キズ箇所を研磨
- ・ビデオテープ …ほこりの付着を取り除くためクリーニングをかける
- ・ケース …傷みがひどい場合は新しいものに交換 など

装備用のシール。  
50種類以上あります!



ビデオやDVDは、図書館での利用が許可されたもののみ購入しています。著作権法で定める補償金を購入時に支払うことが義務付けられているため、購入価格が市販品の4倍以上になる場合もあり、高価なものがほとんどです(例: DVD「火の鳥 宇宙編」市販価格3,465円 図書館購入価格15,000円)。ご家庭での取り扱いには十分注意していただき、より長くご利用いただけますようご協力をお願いします。

ベストオーダー  
2009年 5月~7月  
この期間に予約が多かった本です

### 【一般書 ベスト10】

- 1 1Q84 1・2 / 村上春樹
- 2 運命の人(全4巻) / 山崎豊子
- 3 パラドクス13 / 東野圭吾
- 4 アマルフィ / 真保裕一
- 5 贖罪 / 湊かなえ
- 6 告白 / 湊かなえ
- 7 極北クレイマー / 海堂尊
- 8 鷲と雪 / 北村薫
- 9 IN / 桐野夏生
- 10 レッドゾーン 上・下 / 真山仁



カメの性別って!?

ふう〜ん

カメの性別は、卵の周囲の環境温度によって決まります。これは、爬虫類で広範に見られる遺伝子をもたない温度依存性決定です。それぞれの種類によって決定温度が違いますが、海ガメは28度以下だと全てオスに、30度以上だと全てメスになります。

## 二宮ゆかりの人物

はじ せいじ  
土師 清二 (作家)

去年のくれから、ずっとこちらに閉居している。東海道線大磯のとなりの二宮の海に近いお寺である。(中略) 近くの茅ヶ崎海岸に棟田博君が住んでいて、竿をふっているはなしを同君から聞いていて未だ見参していない。暮れのおしつまった日、こんど二宮に当分落ち着くから何分よろしくと、ジンギをきりに行ったところ、「釣れんけど、とにかく行ってみましよう」と海岸に立った。

昭和初期の時代・大衆小説の作家である土師清二は、昭和37年12月に句会で訪れたことをきっかけに、足掛け7年ほど二宮の妙安寺に滞在していました。上記の引用は妙安寺滞在中に書かれた随筆で、同郷の小説家棟田博とともに茅ヶ崎の海岸で投げ釣りをしたことが書かれています。

土師清二(1893~1977 本名:赤松静太)は明治26年岡山県に生まれました。幼くして父を失い商家に奉公しますが、その傍ら新聞の文芸欄への投稿を続けていたことが縁となり大阪朝日新聞社に入社。後の「週刊朝日」の創刊にも関わり、34歳で新聞社を退社しました。大正14年には長谷川伸、直木三十五(当時は直木三十三)、江戸川乱歩らと大衆作家集団二十一日会を結成、翌年には雑誌「大衆文芸」を発刊しました。ことに長谷川伸との交友を深め、長谷川伸を中心とし土師が客員として加わった後の新鷹会が発刊した第3次の「大衆文芸」は現在も発行されています。昭和2年からは朝日新聞に『砂絵呪縛』を連載し、文壇での地位を不動のものとししました。その後も新聞連載小説など多数の作品を

残し、代表作には『血ろくる伝奇』『風雪の人』などがあります。上記引用部分からもわかるように釣り好きで知られ、とくに小田原あたりに頻りに川釣りに来ていたようです。ほかにも演劇や小唄などにも造詣が深く、好随筆も少なくありません。

昭和38年土師70歳の年、世話になった妙安寺の日新上人が亡くなったときには「花桃をめでにし人やお題目」という追慕の句も詠んでいます。日新上人の一周忌の記念で発行された『日新上人-妙安寺誌』には、巻末に土師の書いた「おてつだいをして」という一節が記されており、発行にあたり尽力したことがわかります。

現在の妙安寺  
(二宮町二宮)



このコーナーでは、二宮にゆかりのある人物や文学作品等をご紹介します。ここで紹介された人物や作品関連の情報がありましたら、図書館までお寄せください。

参考資料 『日新上人-妙安寺誌-』(丸山市子編/了勝山・妙安寺/1964/N C8) 『つり人生』(土師清二著/二見書房/1975/NY B') 『砂絵呪縛(前・後編)』(土師清二/中央公論社/1980/B B') 雑誌「大衆文芸」S44.7月号(新鷹会/1969)

# お知らせ・お願い

## 二宮町図書館リサイクル市が終了しました

5月23、24日の2日間で1148名の来場があり、約4500冊の本等をお持ち帰りいただきました。

図書館基金への募金は合計48,688円でした。ご協力ありがとうございました。

## 特別館内整理休館のお知らせ

9月24日(木)～9月30日(水)の7日間、蔵書点検のため休館します。休館前の貸出の際、返却期限に変更がありますので、ご確認ください。休館中は、利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。

**お願い** 特別館内整理休館中の図書・AV資料の返却ポストへの返却はご遠慮ください。

## 6月よりAV資料の新着が隔月になりました

毎月5日に出していましたが、偶数月(4・6・8・10・12・2月)の5日に変更になりました。

## 7月より書庫本紹介コーナーを移動しました

2階新着資料コーナーの左側に移動しました。

## 返し忘れの本、CD、DVDなどはありませんか？

図書館では、返却期限が過ぎても返却していない利用者へ、定期的に督促を行なっていますが、長期間延滞をしている利用者がいて大変困っています。その資料の利用をお待ちの方がいますので、返し忘れにご注意下さい。今後、延滞されていると、貸出等ができなくなる場合がありますので、十分ご注意ください。

## 行事

くわしくはお問い合わせください。

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

休館日

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



ちいちゃいおはなし会  
第2水曜日  
(8月・10月は第1水曜日)



おおきいおはなし会 小学生からおはなし会とおりがみあそび  
第3土曜日(8月は第4土曜日)



わらべうたであそぼう!  
第3金曜日(8月は第4金曜日)

## 図書館講座開催のお知らせ

「二宮のゆかりの人物」をテーマにした講座(3回)を開催します。図書館だよりで紹介した近・現代文学に関わりのある人物についてお話しします。ぜひご参加ください。

講師：石井敬士氏(二宮町図書館アドバイザー)  
日時：11月14日(土)・21日(土)・28日(土)  
午後1:30～3:30

会場：生涯学習センター ラディアン  
ミーティングルーム2

申し込みは10月1日から受付ます。  
申し込み方法等の詳細につきましては、お知らせ版10月号、館内掲示等をご覧ください。

## 展示テーマ

6月	一般	『発酵』
	児童	『初夏』(5～6月) 『おとうさん』(ミニ展示)
	AV	『結婚式』
7月	一般	『生誕100年の作家たち』
	児童	『夏』 『課題図書&小・中学生にすすめたい本』
8月	一般	『野球』
	児童	『課題図書&小・中学生にすすめたい本』

## 特設展示

- 5～6月・・・『栗本 薫さんをしのんで』  
『裁判員制度』  
『滝平二郎さんをしのんで』(児童特設)
- 6～7月・・・『村上春樹を読む』  
7月・・・『第141回芥川賞・直木賞発表』
- 7～8月・・・『宿題(自由研究・作文等)』(児童特設)
- 地域資料コーナー 展示ケース  
7～9月・・・『二宮ゆかりの人物 疎開と二宮』
- 10～12月・・・『二宮ゆかりの人物 伊達 時』
- 書庫の本紹介コーナー  
7～9月・・・『デビュー作』

## ひとつだけ ～編集後記にかえて

パソコンでの文書作成で「二宮」と入力することが多いのだが、「にのみや」はしばしば「に飲み屋」と変換され脱力させられる。このパソコン「二宮」が記憶できないのか、それとも「飲み屋」の方が頻繁に変換されているのか……謎。

次号の発行は  
11月15日。ホ～!

編集・発行 二宮町図書館  
住所 二宮町二宮1240-10  
☎ 0463-72-6913  
ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>

図書館だよりテーパー版もあります! お問い合わせください。

